

環境配慮商品

売り場での取り組み

普段使っているものを「環境にやさしい」という視点で購入していただくことが地球環境を守ることにつながります。ユニーでは、環境にやさしい素材や資材を使ったさまざまな商品を販売しています。

売り場での取り組み

● ペットボトルなどを再生利用したケミカルリサイクル素材衣料の販売



衣料本部メンズ部
チーフバイヤー
大竹 浩之

使用済みポリエステル製品から再生されたケミカルリサイクル素材を使用した衣料品の販売をしています。このリサイクル素材の特徴は、世界ではじめてポリエステル純度を99.99%まで高めることで、石油を原料とするバージンの原料から生産されるものと同等以上の風合いだしを可能としたことです。当社におきましては、昨今のお客様の環境に対する認識の変化に対応すべく、この素材を使用した商品の開発にいち早く取り組み、世界でもっとも早くマーケットにリリースいたしました。現在は、カジュアルブルゾン、ベ

スト、スーツやスラックスの裏地等で使用し、また、さらに用途を広げるためにウールとの混紡素材も開発しスーツ素材として展開したこともあります。当社といたしましては、通常バージン原料を使用した素材に比べ、生地調達コストが高いことが大きな障害と考えていますが、企業努力の中で、そのコストアップ要素を吸収し、お客様には、通常素材と同一価格で提供していくことがCSRの一環と考えています。長期的には、完全リサイクル型社会の形成の一翼を担えるような仕組み作り、また、商品の開発に努力してまいります。

● 再生した古紙を配合したダストボックスの販売



中京本部 住関部
ホームファニッシング
〈私と生活〉担当バイヤー
山下 真十美

ユニーのライフスタイル提案型商品「私と生活」のグリーンラベルを2006年2月21日より展開しています。このグリーンラベルは、「ナチュラル自然素材」「リサイクル(再生利用)」「サステナビリティ(持続可能)」の3つのコンセプトで開発した商品です。その中の「リサイクル」をテーマに、再生古紙を材料にした収納用品を開発しました。生活用品をつくる時、プラスチックを素材として使うことが多いのですが、これを再生古紙を混ぜて使うことにより、

石油資源の節約と廃棄物の削減に繋がります。この製品を開発するときには、紙の繊維が成型用のノズルにからまるため、ノズルに新しい工夫を加えたり、「再生利用」の難しさがありました。2月より店頭に並べていますが、紙のやさしい風合いが感じられ、素材の51%が古紙なので、廃棄の際は「可燃ゴミ」として出せるのでお客様から好評をいただいています。今後は「茶殻」を再生利用した抗菌性や防臭効果のある商品の開発を企画しています。

● バイオマスプラスチックを使った鶏卵用パック・フルーツ用ケースの採用



食品本部 鮮魚部
バイヤー
江間 俊明

ユニーの開発商品「きらら」(特殊卵)の容器にバイオマスプラスチック(ポリ乳酸)を導入しました。「きらら」はビタミンD・Eを豊富に含む鶏卵で、ユニーのオリジナル商品として、全農と一緒に作り上げたもので、現在鶏卵の売上げの20%を占めている人気商品です。また、容器のバイオマスプラスチックは、トウモロコシなどの植物性原料を使っているため「石油の節約」「CO₂を増やさない」「土に埋めれば分解する」という性質のプラスチックで、地球環境を保全す

るものです。この「きらら」の容器をバイオマスプラスチックにすることにより、「美味しく、健康によい」に加え「環境に配慮した」商品になりました。ただ、このバイオマスプラスチックは、従来の石油からできたものに比べるとかなりコストがかかるので、一般的に普及されていません。「きらら」を通じてたくさんの人にバイオマスプラスチックを知っていただき、普及していけばコストが下がって、もっともっと利用範囲を広げていけるのではないかと期待しています。